

市川市立図書館のメールマガジンをお送りいたします。

「メールでのサービス」で配信をご希望された方へお送りしています。

□ ■ □ -----
■ □ ■ 市川市立図書館メールマガジン 第 107 号 2016.8.25
□ ■ □ -----

オリンピックは熱戦のうちに幕を閉じました。日本選手の活躍に、寝不足の日々が続いた方も多いのではないのでしょうか。続いて 9 月 7 日からはパラリンピックが開催されます。

中央図書館では、「障害者スポーツに注目！」をテーマにした資料を展示中です。パラリンピック開催を前に、障害者スポーツの世界に触れてみてはいかがでしょうか。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1194.html>

■ ■ 図書館からのお知らせ □ -----

◆市川市の図書館は、8 月中は月曜日を除き開館しております。8 月は月末の本の整理のための休館もございませんので、読書や調べものにどうぞご利用ください。

◆「みてみよう、ふれてみよう、虫のふしぎを調べよう！」を開催します！

○開催日時 9 月 10 日（土）14 時～14 時 30 分

○場所 中央図書館内こどもとしょかん くつろぎ広場

○対象 小学生

○事前申込み不要です。開始 5 分前までにお集まりください。

自然博物館の学芸員さんが虫たちをつれてきて、虫についていろいろ教えてください。

■ ■ 市川を描いた浮世絵をご存知ですか？ □ -----

◆中央図書館館内展示「市川に関する浮世絵」

中央図書館では、入り口ガラスショーケースで、市川を描いた浮世絵が掲載された蔵書を展示しています。その中からいくつかご紹介します。

◇「真間の紅葉（ままのもみじ）手古那の社（てこなのをしろ）継はし（つ

ぎはし)」

真間山弘法寺は、江戸近郊随一の楓樹紅葉の名所でした。画面中央に継橋が描かれ、鳥居と手古那の社も見え、色着いた楓の葉の奥には、男体山と女体山と二つの峰が目印である筑波山が描かれています。

◇「鴻の台(こうのだい)とね川風景」

国府台から、江戸川の下流方向(南)を眺めた風景です。川の左側に迫った崖が、現在の里見公園がある国府台と思われ、切岸上に3人の人物が描かれています。

江戸時代の頃は、北方の物資を江戸に運ぶ重要な水路として本流と一体になっていたことから「利根川」と呼ばれていました。画面中央を流れる江戸川の右岸に関東平野が広がり、右端に富士山が見えています。

○以上の2点はどちらも江戸時代末期の浮世絵師歌川広重(安藤広重)の「江戸名所百景」に描かれたものです。「名所江戸百景」は、広重最晩年の作品とも言われており、全120図(内一図は二代目広重の落款、一図は目録)からなります。

市川の名所二景は、秋の部として描かれています。それぞれ描いている方向は北と南を向いており、遠景として筑波山と富士山が対照的に描かれています。

(『広重名所江戸百景：秘蔵岩崎コレクション』安藤広重／画(小学館2007)ほか所収)

○「名所江戸百景」は国立国会図書館の「デジタルコレクション」でもご覧いただけます。ご利用の際は中央図書館のレファレンスカウンターにお越しください。

◇「ぎやうとくしほはまよりのぼとのひかたをのぞむ」

葛飾北斎作の浮世絵です。北斎は、遠近や陰影などの洋風表現を強調した洋風版画を、寛政の末から文化の頃にかけて手がけています。

表題は「ひらがながき」ですが、漢字交じりに直すと「行徳塩浜より登戸の干潟を望む」となり、行徳の塩田から登戸(千葉市中央区あたり)の鳥居を望む広々とした海浜光景を、視点を低く取って描いています。

(『人間の美術10：浮世と情念』梅原猛／監修(学研1990)ほか所収)

○市川の浮世絵についてまとめた「市川に関する浮世絵：浮世絵につい

て調べるには」を発行しました。どうぞご利用ください。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1194.html#m16>

.....
◇メールマガジンの登録・解除はこちら

<https://opac.city.ichikawa.chiba.jp/winj/opac/top.do>

◇このメールは自動配信されています。このアドレスに返信いただいても内容の確認およびご返答ができません。ご了承ください。

市川市中央図書館

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 047-320-3346
